

## 第44回腎癌研究会 スケジュール

会場：品川インターシティホール  
日時：平成25年7月21日(日) 8:30-16:35

8:30-8:35 開会挨拶

8:35-9:55 Session1「腎部分切除術」

座長:三宅 秀明(神戸大学 泌尿器科) ※一般演題:0-1~5

9:15-9:55 Session2「分子標的薬」

座長:高橋 俊二(がん研有明病院 総合腫瘍科) ※一般演題:0-6~10

9:55-10:05 休憩

10:05-10:45 Session3「非淡明細胞癌」

座長:住友 誠(愛知医科大学 泌尿器科) ※一般演題:0-11~15

10:45-11:25 Session4「その他」

座長:植田 健(千葉県立がんセンター 泌尿器科) ※一般演題:0-16~20

11:25-12:00 総会 / 休憩

12:00-13:30 Symposium1「International Session」

座長:Nicholas J. Vogelzang (Comprehensive Cancer Centers of Nevada)  
内藤誠二(九州大学 泌尿器科)

13:30-14:30 Poster Session / 休憩

Poster Session1「症例報告」座長:小原 航(岩手医科大学 泌尿器科) ※一般演題:P-1~5  
Poster Session2「分子標的薬」座長:前田 佳子(東京女子医科大学附属青山病院 泌尿器科) ※一般演題:P-6~10  
Poster Session3「アキシチニブ、クライオ」座長:近藤 恒徳(東京女子医科大学 泌尿器科) ※一般演題:P-11~15  
Poster Session4「症例報告、基礎」座長:久米 春喜(東京大学 泌尿器科) ※一般演題:P-16~20

14:30-15:30 Symposium2「非淡明細胞癌」

座長:長嶋 洋治(横浜市立大学 病理学第二講座)、浅野 友彦(防衛医科大学校 泌尿器科)

15:30-16:30 Symposium3「新たな画像診断、新たな治療」

座長:篠原 信雄(北海道大学 泌尿器科)、釜井 隆男(獨協医科大学 泌尿器科)

16:30-16:35 閉会挨拶

※Symposium1~3 共催

プラチナスポンサー：ノバルティス ファーマ株式会社、ファイザー株式会社

シルバースポンサー：バイエル薬品株式会社

第44回腎癌研究会 プログラム

Symposium1 「International Session」

12:00-13:30

座長: Nicholas J. Vogelzang (Comprehensive Cancer Centers of Nevada)  
: 内藤 誠二 (九州大学 泌尿器科)

- S1-1 Predictive and Prognostic Factors in mRCC Daniel Heng  
(Clinical Associate Professor, University of Calgary Staff Medical Oncologist, Tom Baker Cancer Center)
- S1-2 Recent advances in treating mRCC Nicholas J. Vogelzang  
(Comprehensive Cancer Centers of Nevada)
- [Case Study]  
discussants: Daniel Heng (Clinical Associate Professor, University of Calgary Staff Medical Oncologist, Tom Baker Cancer Center)  
Jin Soo Chung (National Cancer Center), Cheryn Song (Asan Medical Center)  
小原 航 (岩手医科大学 泌尿器科), 齋藤 一隆 (東京医科歯科大学 泌尿器科)

Symposium2 「非淡明細胞癌」

14:30-15:30

座長: 長嶋 洋治 (横浜市立大学 病理学第二講座), 浅野 友彦 (防衛医科大学校 泌尿器科)

- S2-1 非淡明腎細胞癌の病理 三上 修治 (慶應義塾大学 病理診断部)
- S2-2 本邦における転移性乳頭状腎細胞癌の治療成績 - 多施設共同研究中間報告 伊藤 敬一 (防衛医科大学校 泌尿器科)
- S2-3 嫌色素腎細胞癌の臨床病理学的特徴, 予後, CTによる術前予測 柳 雅人 (日本医科大学 泌尿器科)
- S2-4 Xp11.2 translocation renal cell carcinomaの臨床病理学的検討 廣部 恵美 (札幌医科大学 泌尿器科)

Symposium3 「新たな画像診断, 新たな治療」

15:30-16:30

座長: 篠原 信雄 (北海道大学 泌尿器科), 釜井 隆男 (獨協医科大学 泌尿器科)

- S3-1 新たな3D画像解析システム(Synapse Vincent)使用の初期経験—無阻血腎部分切除への応用 駒井 好信 (国立がん研究センター東病院 泌尿器科)
- S3-2 骨シンチグラフィ診断支援ソフト(BONENAVI)を用いた腎癌骨転移診断の妥当性 伊藤 明人 (岩手医科大学 泌尿器科)
- S3-3 腎細胞癌におけるPC-VIPRを用いた3次元シネ位相コントラストMRIによるスニチニブの治療効果予測の試み 高山 達也 (浜松医科大学 泌尿器科)
- S3-4 腎癌に対する重粒子線治療の効果 五十嵐 辰男 (千葉大学大学院 工学研究科)
- S3-5 マウス腎癌モデルにおける低用量ソラフェニブと抗CTLA-4抗体の併用療法による腫瘍抑制効果についての検討 元島 崇信 (熊本大学 泌尿器科)

Session1 「腎部分切除術」

8:35-9:55

座長: 三宅 秀明 (神戸大学 泌尿器科)

- O-1 広島市立安佐市民病院における腎部分切除術の検証 小島 浩平 (広島市立安佐市民病院 泌尿器科)
- O-2 腎腫瘍切除時の腎周囲脂肪の硬度に関する検討 松岡 崇志 (京都大学 泌尿器科)
- O-3 腎部分切除術後AKIで透析が必要となった症例の検討 大前 憲史 (東京女子医科大学 泌尿器科)
- O-4 腎部分切除後の仮性動脈瘤の発生は考えられているよりも高頻度である 近藤 恒徳 (東京女子医科大学 泌尿器科)
- O-5 腎腫瘍に対する腎部分切除術におけるMedical CKDとSurgical CKD症例の術後腎機能変化の比較 吉田 一彦 (東京女子医科大学 泌尿器科)

Session2 「分子標的薬」

9:15-9:55

座長: 高橋 俊二 (がん研有明病院 総合腫瘍科)

- O-6 分子標的剤登場後の名古屋大学における進行性腎細胞癌に対する治療 佐々 直人 (名古屋大学 泌尿器科)
- O-7 高齢進行性腎細胞癌に対するスニチニブ治療の有効性と安全性 藤田 哲夫 (北里大学 泌尿器科)
- O-8 高齢者の転移性腎細胞癌に対するチロシキナーゼ阻害薬(TKI)投与における臨床的検討 前田 喜寛 (熊本大学 泌尿器科)
- O-9 スニチニブの有害事象と投与スケジュールに関する検討 水 裕賢 (九州大学 泌尿器科)
- O-10 当院および関連施設におけるsunitinibの治療効果予測因子について 川井 禎久 (山口大学 泌尿器科)

Session3 「非淡明細胞癌」

10:05-10:45

座長: 住友 誠 (愛知医科大学 泌尿器科)

- O-11 転移性腎癌における非淡明細胞癌と淡明細胞癌の比較 亭島 淳 (広島大学 泌尿器科)
- O-12 転移性乳頭状腎癌に対する分子標的薬の効果の検討 力石 浩介 (東京女子医科大学 泌尿器科)
- O-13 当院におけるXp11.2転座腎細胞癌の検討 水野 隆一 (慶應義塾大学 泌尿器科)
- O-14 進行性非淡明腎細胞癌に対する薬物治療の検討 深沢 賢 (千葉県がんセンター 泌尿器科)
- O-15 非淡明細胞型転移性腎細胞癌に対する分子標的治療の成績 日向 信之 (神戸大学 泌尿器科)

Session4 「その他」

10:45-11:25

座長:植田 健 (千葉県立がんセンター 泌尿器科)

- O-16 下大静脈腫瘍塞栓を伴った腎癌手術症例における術前下大静脈フィルター留置の有用性の検討 八木澤 隆史 (東京女子医科大学 泌尿器科)
- O-17 根治的腎摘除が全生存率に及ぼす影響 田中 宣道 (奈良県立医科大学 泌尿器科)
- O-18 血管新生抑制因子Vasohibin-1は腎細胞癌術後の非再発の予測マーカーである 宮地 禎幸 (川崎医科大学 泌尿器科)
- O-19 転移性腎細胞癌の治療薬剤変更理由の検討 山口 健哉 (日本大学 泌尿器科)
- O-20 転移性腎細胞癌に対する分子標的薬のSequential therapyの検討 水野 伸彦 (神奈川県立がんセンター 泌尿器科)

Poster Session1 「症例報告」

13:35-14:10

座長:小原 航 (岩手医科大学 泌尿器科)

- P-1 乳頭状腎細胞癌に合併したTrousseau症候群の1剖検例 千原 良友 (奈良県立医科大学 泌尿器科)
- P-2 多発転移を伴ったXp11.2転座型腎癌の1例 有吉 勇一 (岡山大学 泌尿器科)
- P-3 Axitinibが著効したペリニ管癌の1例 林田 有史 (香川大学 泌尿器科)
- P-4 低血糖発作を契機に発見された大分子量IGF-II産生腎癌の1例 木村 信吾 (東北大学 泌尿器科)
- P-5 経皮的内視鏡下生検が診断の契機となった腎嚢胞内腎細胞癌 (Renal cell carcinoma, unclassified, with low grade malignant potential)の1例 麦谷 莊一 (すずかけセントラル病院 腎・泌尿器内視鏡治療センター)

Poster Session2 「分子標的薬」

13:35-14:10

座長:前田 佳子 (東京女子医科大学附属青山病院 泌尿器科)

- P-6 腎淡明細胞癌に対しファーストラインとしてエペロリムス投与例の検討 波多野 孝史 (JR東京総合病院 泌尿器科)
- P-7 遠隔転移のない腎癌原発巣に対するスニチニブの治療効果 徳田 倫章 (佐賀県医療センター好生館 泌尿器科)
- P-8 転移性腎細胞癌に対するsunitinibのrelative dose intensity及び治療成績に関する検討 西川 源也 (愛知医科大学 泌尿器科)
- P-9 鳥取大学における進行性腎細胞癌に対する分子標的治療薬の臨床的検討 眞砂 俊彦 (鳥取大学 泌尿器科)
- P-10 分子標的療法を導入により腎癌骨転移の治療成績は向上したか? 北村 寛 (札幌医科大学 泌尿器科)

Poster Session3 「アキシチニブ、クライオ」

13:35-14:10

座長:近藤 恒徳 (東京女子医科大学 泌尿器科)

- P-11 当院におけるアキシチニブの短期使用経験 小野田 充敏 (岩手医科大学 泌尿器科)
- P-12 進行性腎細胞癌に対するアキシチニブの使用経験 藤田 竜二 (岡山医療センター 泌尿器科)
- P-13 転移性腎癌に対する Axitinibの治療経験 滑川 剛史 (千葉県がんセンター 泌尿器科)
- P-14 腎癌に対する凍結療法 of 初期治療経験 本郷 文弥 (京都府立医科大学 泌尿器科)
- P-15 腎癌に対するMRIガイド下凍結療法 of 初期経験 坂東 重浩 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 泌尿器科)

Poster Session4 「症例報告、基礎」

13:35-14:10

座長:久米 春喜 (東京大学 泌尿器科)

- P-16 Temsirolimus単剤にて病勢コントロールを得ている腎細胞癌と胆管がんの重複症例 内野 慶太 (九州医療センター 腫瘍内科)
- P-17 分子標的薬投与中に腸管穿孔をおこした2例 高橋 正幸 (徳島大学 泌尿器科)
- P-18 転移性腎癌に対しSequential therapyにより長期病勢コントロールの得られている高齢透析患者の一例 柴原 瑞美 (東京女子医科大学 泌尿器科)
- P-19 腎癌術後多部位再発に対する摘除術にて長期生存を得た1例 小島 浩平 (広島市立安佐市民病院 泌尿器科)
- P-20 Sarcomatoid RCCの細胞株樹立 川口 真琴 (獨協医科大学越谷病院 泌尿器科)